

1 ワイヤロープの製造工程

① 線材

ワイヤロープの原料には線材（ワイヤロッド）と呼ばれる鋼材が用いられます。線材には硬鋼線材（JIS G 3506）、ピアノ線材（JIS G 3502）及びステンレス鋼線材（JIS G 4308）がありますが、製品に要求される品質に応じて、使用されます。

当社では下記項目について、受入・確認ができる体制を確立しています。

- (a) 線径及び偏径差
- (b) 金属組織^(注)
- (c) 化学成分
- (d) 表面及び内部欠陥（パイプ、偏析など）の有無とその程度
- (e) 不純物の有無とその程度

更に必要に応じて、JISに規定されていない項目についても検査を行っています。

(注) 金属組織検査

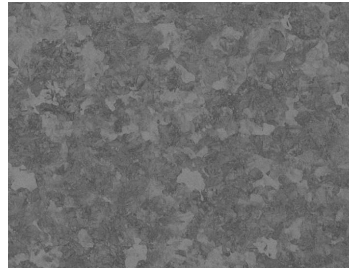
線材の最も重要な内部組織を、光学顕微鏡や電子顕微鏡によって調査します。

金属内部組織（倍率×200）

熱処理を行った
線材（鉛パテン
チング）

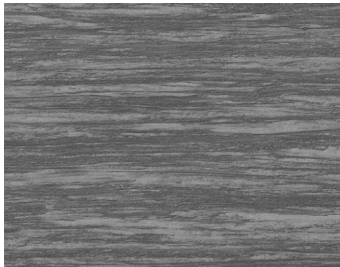


72C 線材

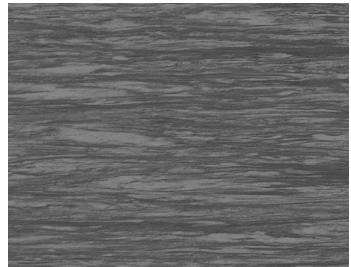


82C 線材

[参考]
熱処理線材を
伸線加工した
素線



72C 素線



82C 素線